

毎週火・金曜日発行（当日が休日に当たるときは、休日の翌日）

福島県報

目次

告示

- 大規模小売店舗立地法による新設の届出があつた件
○大規模小売店舗の変更の届出について意見があつた件四件
○大規模小売店舗立地法により県が意見を述べた件
○保安林の指定をする件
○保安林の指定施設要件を変更する予定である旨通知があつた件三件
○保安林の指定施設要件を変更する予定である旨の通知をする森林所有者等の所在が不明であるため当該通知の内容を掲示した件二件

三 七 七 六 五 五

告示

福島県告示第三十二号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号）第五条第一項の規定により、大規模小売店舗の新設について次のとおり届出があつた。なお、当該届出及び同条第二項に規定する添付書類を令和八年一月二十七日から同年五月二十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県相双地方振興局企画商工部地域づくり・商工労働課及び大熊町ゼロカーボン推進課に備え置いて縦覧に供する。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀雅雄

- 一 大規模小売店舗の名称及び所在地
大熊町原地区商業施設 福島県双葉郡大熊町大字下野上字原六十七ー六十九
- 二 大規模小売店舗を設置する者及び当該大規模小売店舗において小売業を行う者の名称及び住所並びに代表者の氏名
1 大規模小売店舗を設置する者
名称 大熊町
代表者の氏名 町長 吉田 淳

- 2 住所 福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平千七百十七
大規模小売店舗において小売業を行う者
名称 株式会社マルトグループホールディングス
代表者の氏名 代表取締役社長 安島 浩

- 住所 福島県いわき市勿来町窪田十条三番一
大規模小売店舗の新設をする日
令和八年九月三十日

- 四 大規模小売店舗内の店舗面積の合計
二千三百三十七平方メートル

- 五 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

- 1 駐車場の位置及び収容台数

(一) 位置 別紙図面のとおり

(二) 収容台数 九十九台

- 2 駐輪場の位置及び収容台数

(一) 位置 別紙図面のとおり

(二) 収容台数 六十七台

- 3 荷さばき施設的位置及び面積

(一) 位置 別紙図面のとおり

(二) 面積 百四平方メートル

- 4 廃棄物等の保管施設的位置及び容量

(一) 位置 別紙図面のとおり

(二) 容量 十三・七立方メートル

- 六 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

- 1 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

開店時刻 午前九時

閉店時刻 午後十一時

- 2 来客が駐車場を利用することができる時間帯

午前八時三十分から午後十一時三十分まで

- 3 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

数 二箇所

(一) 位置 別紙図面のとおり

- 4 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

午前六時から午後十時まで

- 七 届出年月日

令和八年一月十三日

（「別紙図面」は、省略し、その図面を縦覧場所に備え置いて縦覧に供する。）

（商業まちづくり課）

福島県告示第三十三号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号。以下「法」という。）第八条第一項の規定により第六条第一項の変更の届出に係り聴取した意見の概要及び第八条第二項の規定により述べられた意見の概要は、次のとおりである。なお、当該意見を令和八年一月二十七日から同年二月二十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県県中地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課及び郡山市農商工部産業雇用政策課に備え置いて縦覧に供する。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀 雅雄

- 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
岩瀬書店富久山店 福島県郡山市富久山町八山田字大森新田三十六―一ほか
- 法第八条第一項の規定により郡山市から聴取した意見の概要
意見なし
- 法第八条第二項の規定により述べられた意見の概要
意見書の提出なし

（商業まちづくり課）

福島県告示第三十四号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号。以下「法」という。）第八条第一項の規定により第六条第一項の変更の届出に係り聴取した意見の概要及び第八条第二項の規定により述べられた意見の概要は、次のとおりである。なお、当該意見を令和八年一月二十七日から同年二月二十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県県北地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課及び本宮市産業部商工観光課に備え置いて縦覧に供する。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀 雅雄

- 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
薬王堂本宮仁井田店 福島県本宮市仁井田字富士内十番一ほか
- 法第八条第一項の規定により本宮市から聴取した意見の概要
意見なし
- 法第八条第二項の規定により述べられた意見の概要
意見書の提出なし

（商業まちづくり課）

福島県告示第三十五号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号。以下「法」という。）第八条第一項の規定により第六条第一項の変更の届出に係り聴取した意見の概要及び第八条第二項の規定により述べられた意見の概要は、次のとおりである。なお、当該意見を令和八年一月二十七日から同年二月二十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県県中地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課及び郡山市農商工部産業雇用政策課に備え置いて縦覧に供する。

雇用政策課に備え置いて縦覧に供する。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀 雅雄

- 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
ヨークタウン八山田 福島県郡山市八山田西一丁目五十八ほか
- 法第八条第一項の規定により郡山市から聴取した意見の概要
意見なし
- 法第八条第二項の規定により述べられた意見の概要
意見書の提出なし

（商業まちづくり課）

福島県告示第三十六号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号。以下「法」という。）第八条第一項の規定により第六条第一項の変更の届出に係り聴取した意見の概要及び第八条第二項の規定により述べられた意見の概要は、次のとおりである。なお、当該意見を令和八年一月二十七日から同年二月二十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県県北地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課及び福島市総務部総務課市民情報室に備え置いて縦覧に供する。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀 雅雄

- 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
新福島駅ビル 福島県福島市栄町一番一号
- 法第八条第一項の規定により福島市から聴取した意見の概要
意見なし
- 法第八条第二項の規定により述べられた意見の概要
意見書の提出なし

（商業まちづくり課）

福島県告示第三十七号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号。以下「法」という。）第八条第四項の規定により述べられた意見の概要は、次のとおりである。なお、当該意見を令和八年一月二十七日から同年二月二十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県県北地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課及び福島市総務部総務課市民情報室に備え置いて縦覧に供する。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀 雅雄

- 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
福島駅西口ショッピングセンター 福島県福島市公事田六番地七ほか
- 法第八条第四項の規定により述べられた県の意見の概要

意見なし

(商業まちづくり課)

福島県告示第三十八号

森林法(昭和二十六年法律第二百四十九号)第二十五条の二第二項の規定により、次のように保安林の指定をする。

令和八年一月二十七日

一 保安林の所在場所

福島県知事 内堀 雅雄

双葉郡富岡町大字仏浜字釜田二六の一、一六の一三、三二の一、三三の一三、三四の一、三四の七、三六、三七、三八の一、三九の八、三九の一六、三九の一七、四七、四八の三、四八の四、五八の二、六三の二、六四の五、七六の二、七七の二、七九の三、八〇の二、八三の一、八三の二、八四の五、八六、八七の三、八八の一、八八の二、八九の一、一〇七の一から一〇七の三まで、一〇七の五、一〇七の七から一〇七の二一まで、一〇七の二五から一〇七の二七まで、一〇七の二九、一〇七の三〇、一五九の三、一六〇の二、一七三、一七五から一七七まで、二二九の一、二三二の二、二三三の五、二三五の三、二三六の三、二三七の一、二三八の一、二三九の一、二四〇の一、二四一の一、二四二の一、二四三の一、二四五、二四八、三七七の二、三七八の二、三七九の二、三八〇の二、三八一の二、三九四の二、三九五の二、三九六の二、三九九の一、四〇〇の一、四一四、四一五の一、四一六の一、四一七の一から四一七の三まで、四一八の一、四一八の二、四一九の一から四一九の五まで、四二〇の一、四二一の一、四二二の二、四二六の二、四二八の二、四三〇の二、四三一の一、四三二の二、四三六の一、四六四、四六六の一、四六八の一、四七三の一、四七四から四七八まで、四七九の一、四八〇の一、四八一、四八二、四八四の一、四八五、四八六の一、四九八の一、五〇二の一、五〇三の一、五〇四、五〇五、五〇六の一、五〇七の一、五〇八の一、五〇九から五一一まで、五一二の一、五一二の三、五一三の一、五一三の三、五一四の一、五一五の一、五一七、五四四から五四七まで、五四八の一、五四八の二、五六八の一、五六九の一、五七〇、五七一の一、五七二の一、五七四、五七五の一、五九〇、五九四、六〇九、六一〇、六一八、六二一、六四三から六七三まで、字西原二九九の一、三〇〇の一、三〇〇の三、三〇一から三〇三まで、三〇四の一、三〇六の一、三〇七から三一〇まで、三一一の一、三一二、三一二三

二 指定の目的

潮害の防備

三 指定施業要件

1 立木の伐採の方法

- (一) 主伐は、択伐による。
- (二) 主伐として伐採をすることができる立木は、富岡町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
- (三) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

2 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種

次のとおりとする。

(「次のとおり」は、省略し、その関係書類を福島県農林水産部森林林業総室森林保全課及び富岡町役場に備え置いて縦覧に供する。)

(森林保全課)

福島県告示第三十九号

森林法(昭和二十六年法律第二百四十九号)第三十三条の三において準用する同法第二十九条の規定により、次のように保安林の指定施業要件を変更する予定である旨農林水産大臣から通知があった。

令和八年一月二十七日

一 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

福島県知事 内堀 雅雄

大沼郡金山町大字大塩字小田代三七六六

2 保安林として指定された目的

土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

- (1) 次の森林については、主伐は、択伐による。
- 字小田代三七六六(次の図に示す部分に限る。)
- (2) その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。
- (3) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
- (4) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

二 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

大沼郡金山町大字大志字雨堤一五五三の一、字糠塚一〇四三の三、一〇四三の四

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

- (1) 主伐は、択伐による。
- (2) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
- (3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- (二) 立木の伐採の限度
- 次のとおりとする。
- 三 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

- 大沼郡金山町大字水沼字下大牧二三五三の一、二三五三の二、二三八七の一から二三八七の三まで、二三八七の五、二三八七の六、二三八七の二〇、二三八七の三四から二三八七の三六まで、字中島二三五一の二
- 2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- (二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 四 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
大沼郡金山町大字八町字山久保三〇八の一、字早坂三二二の一
- 2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- (二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 五 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
大沼郡金山町大字水沼字木根沢一九四〇、一九四〇の二、一九四一から一九四四まで、一九四六、一九四八、一九四九、一九四九の二、一九五二、一九五三、一九五三の二、一九五六、一九五九の一、一九六〇、一九六一、一九六四から一九七一まで、一九七五の一、一九七六の一、一九七六の二、一九八〇、一九八四、一九八六の一、一九八六の二、一九八七、一九八八、一九九〇の一、一九九〇の二、一九九〇の四、四一五三
- 2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

- (3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- (二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 六 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
大沼郡金山町大字大栗山字李冷三〇一三、三〇一六の一、三〇一六の二、三〇一六の六、三〇一六の九、三〇一七、三〇五〇、字松原一九七の一、一九九、二〇〇、二〇一の一、字下松原一九四の三、二二六の一、四二〇の二、四二〇のイ、四二二
- 2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- (二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 七 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
大沼郡金山町大字西谷字橋向一九四一から一九四三まで、一九四六、一九四八から一九五四まで、一九五五の一から一九五五の一三まで、一九五六から一九六〇まで、一九六三、一九六四の一、一九六四の二、一九六五の一、一九六五の三から一九六五の二二まで、一九六五の三四、一九六五の五二まで、一九六五の五三から一九六五の七四まで、一九六六、一九六六のイ、一九六九、一九七二、一九七三、一九七四の一、一九七四の二、一九七七の一、一九七八から一九八三まで、一九八四の一、一九八四の二、一九八五から一九八七まで、二〇八六から二〇九一まで
- 2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができる立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- (二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 八 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
大沼郡金山町大字水沼字沢東一一三一、一一三二の一、一一五二の一、一一五四

の二、一一五四の三、字後山九〇六の一、九〇六の二、九〇七の一、九〇八の一、九〇八の三、九一五の一、九一六、九三二、九三二の一から九三二の三まで、九三二のイ、九三三の二

2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

主伐は、択伐による。

(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(二) 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

九 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

大沼郡金山町大字小栗山字腰巻二二六二、二二六三の一、二二六三の二、二二六四の一、二二六四の二、二二六五、字堂平二〇二三、二〇二四

2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(二) 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種

次のとおりとする。

十 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

大沼郡金山町大字山入字鯉立向山二六一五の一（次の図に示す部分に限る。）
二六一五の六から二六一五の四四まで

2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

(1) 次の森林については、主伐は、択伐による。

字鯉立向山二六一五の一・二六一五の四三（以上二筆について次の図に示す部分に限る。）

(2) その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。

(3) 主伐として伐採をすることができ立木は、金山町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(4) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
立木の伐採の限度
次のとおりとする。

（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を福島県農林水産部森林林業総室森林保全課及び金山町役場に備え置いて縦覧に供する。）
（森林保全課）

福島県告示第四十号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の三において準用する同法第二十九条の規定により、次のように保安林の指定施業要件を変更する予定である旨農林水産大臣から通知があった。
令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀雅雄

一 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

東白川郡棚倉町大字棚倉字矢近二四四の一三から二四四の一五まで

2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(二) 立木の伐採の限度

次のとおりとする。

二 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

東白川郡棚倉町大字福岡字下平七八の一、七九の一
保安林として指定された目的
土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件

(一) 立木の伐採の方法

(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。

(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(二) 立木の伐採の限度

三 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字大梅字白毛角一九七の二

- 2 保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
(二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 四 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字強梨字蟹内九五、一五四から一五八まで、二〇六
保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
(二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 五 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字大梅字段河内三〇一の二
保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
(二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 六 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字寺山字久沢一、二、二六八の一
保安林として指定された目的
土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件

- (一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐に係る伐採種は、定めない。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
(二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 七 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字流字大日向二七
保安林として指定された目的
土砂の崩壊の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
(二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 八 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字流字北大沢三から五まで、一四から一七まで、二〇
保安林として指定された目的
土砂の崩壊の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、棚倉町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
(二) 立木の伐採の限度
次のとおりとする。
- 九 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
東白川郡棚倉町大字流字南大沢五一から五五まで、五六の一、五七の一、五八の二、六〇から六三まで、七二から七五まで
保安林として指定された目的
土砂の崩壊の防備
- 3 変更後の指定施業要件
(一) 立木の伐採の方法
(1) 主伐は、択伐による。

令和八年一月二十七日

- 〔森林保全課〕

- 土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
- (一) 立木の伐採の方法
- (1) 主伐に係る伐採種は、定めない。
- (2) 主伐として伐採をすることができる立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
- (3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種次のとおりとする。
- 二1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
- 南会津郡南会津町川島字上山一九五三、一九五五の三から一九五五の五まで、一九五五の二から一九五五の二七まで、一九五五の二九、一九五五の三一から一九五五の三五まで、一九五五の三七から一九五五の四〇まで、一九五五の四二、一九五五の四三、字宮前二〇のロ、二六、一九二七から一九二九まで、一九三一
- 2 保安林として指定された目的
- 土砂の流出の防備
- 3 変更後の指定施業要件
- (一) 立木の伐採の方法
- (1) 主伐に係る伐採種は、定めない。
- (2) 主伐として伐採をすることができる立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
- (3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- 立木の伐採の限度次のとおりとする。
- 三1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
- 南会津郡南会津町中荒井字小田沢二三六〇の二、二三六〇の三一、二三六〇の三四から二三六〇の四三まで、二三六〇の四五から二三六〇の五六まで、二三六一の一から二三六一の二一まで、二三六一の二三から二三六一の六六まで、二三六一の六八
- 2 保安林として指定された目的
- 水源の涵養
- 3 変更後の指定施業要件
- (一) 立木の伐採の方法
- (1) 主伐に係る伐採種は、定めない。
- (2) 主伐として伐採をすることができる立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
- (3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。
- 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種次のとおりとする。

- 四 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
南会津郡南会津町藤生字畑之沢二三〇四
保安林として指定された目的
水源の涵養

2 変更後の指定施業要件
立木の伐採の方法

(一) 主伐に係る伐採種は、定めない。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

五 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
南会津郡南会津町藤生字曲窪二二六二の一、字北ノ平二二六三の一
保安林として指定された目的
水源の涵養

3 変更後の指定施業要件
立木の伐採の方法

(一) 主伐に係る伐採種は、定めない。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

六 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
南会津郡南会津町針生字駒戸山一七二四の七
保安林として指定された目的
水源の涵養

3 変更後の指定施業要件
立木の伐採の方法

(一) 主伐に係る伐採種は、定めない。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

七 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
南会津郡南会津町糸沢字中沢山三三二一の一
保安林として指定された目的
- (二) 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種
次のとおりとする。

(三) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

- 3 変更後の指定施業要件
立木の伐採の方法

(一) 主伐に係る伐採種は、定めない。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

八 1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所
南会津郡南会津町金井沢字後山一二五一の一から一二五二の一から一二六〇まで、一二六一の一から一二六一の三二まで、一二六四から一二七一まで、一二七二の一から一二七二の一四まで、字中村一九五
保安林として指定された目的
土砂の流出の防備

3 変更後の指定施業要件
立木の伐採の方法

(一) 主伐に係る伐採種は、定めない。
(2) 主伐として伐採をすることができ立木は、南会津町森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(二) 立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種
次のとおりとする。

(「次のとおり」は、省略し、その関係書類を福島県農林水産部森林林業総室森林保全課及び南会津町役場に備え置いて縦覧に供する。)

(森林保全課)
- 福島県告示第四十二号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の三において準用する同法第三十条の規定により、保安林の指定施業要件を変更する予定である旨の通知をする相手方のうち次に掲げる者については、その所在が不明であるため、同法第百八十九条の規定により当該通知の内容を猪苗代町役場の掲示場に掲示した。当該通知の内容の要旨は、次のとおりである。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内堀 雅雄

一 所在の不明な者の氏名
笠間力 佐藤智 佐藤栄喜 佐藤勇雄 佐藤和男 佐藤栄喜 安部作憲 安部寅記
佐藤栄 佐藤忠永 土屋吉司 本多四郎

二 通知の内容の要旨

- 1 保安林の指定施業要件を変更する予定であると農林水産大臣から通知があったこと。
- 2 当該変更に係る保安林の所在場所及び変更後の指定施業要件については、保安林の指定施業要件を変更する予定である旨通知があった件（令和七年福島県告示第八百三十六号）によること。
- 3 当該告示の内容について異議があるときは、森林法第三十二条第一項の規定により、当該告示の日から三十日以内に意見書を福島県知事に提出することができること。

（森林保全課）

福島県告示第四十三号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の三において準用する同法第三十条の規定により、保安林の指定施業要件を変更する予定である旨の通知をする相手方のうち次に掲げる者については、その所在が不明であるため、同法第百八十九条の規定により当該通知の内容をいわき市役所の掲示場に掲示した。当該通知の内容の要旨は、次のとおりである。

令和八年一月二十七日

福島県知事 内 堀 雅 雄

一 所在の不明な者の氏名

会田孝子 会田宗一 戸田道雄 後藤文雄 佐藤チエ子 佐藤義昭 山野辺光一郎
新妻太 新妻良平 菅波禎子 瀬谷秀武 西山義意 青木友子 石井典夫 石井美
代子 船生壽一 中野庄内 中野洋志 馬上博美 片寄勝広 鈴木一夫 會田英信
阿部利雄 安藤ヨシノ 横山栄 戸辺和洋 高木隆晴 佐藤昭吉 佐藤信子 渡邊嘉
三郎 白井英明 白井光江 白井春子 薄井金治 木村兼治 草野秀直

二 通知の内容の要旨

- 1 保安林の指定施業要件を変更する予定であると農林水産大臣から通知があったこと。
- 2 当該変更に係る保安林の所在場所及び変更後の指定施業要件については、保安林の指定施業要件を変更する予定である旨通知があった件（令和七年福島県告示第八百二十二号）によること。
- 3 当該告示の内容について異議があるときは、森林法第三十二条第一項の規定により、当該告示の日から三十日以内に意見書を福島県知事に提出することができること。

（森林保全課）